

目次

- 新コース VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5]
JIR (Junos Intermediate Routing)
- セミナー BCP対策セミナー ～実践的・現実的な危機管理とは？～
- トピック Inst. Tech View～“プレゼンテーションTIPS”～
- コラム スーパーエンジニアの独り言 第4回 “スタートレック”

新 | コ | ー | ス |

◆◇ VMware研修コース『VMware View』リリース! ◇◆

VMware Viewを使用してVMware Virtual Desktop Infrastructure を構築・運用するためのスキルが習得可能なコースをリリースいたしました。

VM31 : VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5]

期間 : 4日間

価格 : ¥281,400 (税込)

詳細 : <http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/VM31.html>

◆◇ Juniper研修コース『JIR』リリース! ◇◆

Juniper Networks社JNCIS-ENT認定試験の準備コースとして、JUNOSでのルーティングプロトコルの設定やルーティングに関する様々な技術を習得可能なコースをリリースいたしました。

NS23 : JIR (Junos Intermediate Routing)

期間 : 2日間

価格 : ¥147,000 (税込)

詳細 : <http://www.school.ctc-g.co.jp/juniper/NS23.html>

セ | ミ | ナ | ー |

◆◇好評受付中 BCP対策セミナー ～実践的・現実的な危機管理とは？～ ◇◆

企業としての危機管理とは何か、事業の継続性はどのように設計すべきなのか。今回のセミナーでは、前東京都総合防災部情報統括課長の齋藤寛氏をお迎えし、危機管理に対するご経験とお考えを講演いただきます。齋藤氏は、3月の大震災時に東京都災害対策本部の広報班の責任者として、プレス対応等を担当された、災害対策の専門家です。

本セミナーでは、ITにおけるBCP策定に必要な要素についてもご紹介します。

※まだ残席がございますので、お早めにお申込みください。

【概要】

開催日 : 2011年11月25日 (金) 14:00 - 16:00 (13:30 受付開始)

会場 : CTCテクノロジー・駒沢ラーニングセンター (受付2F)

<http://www.school.ctc-g.co.jp/map/komazawa.html>

共催 : 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

CTCテクノロジー株式会社

対象 : 危機管理、BCP、バックアップにご興味のある方

参加費 : 無料

申込み : <http://www.school.ctc-g.co.jp/seminar/index.html>

【プログラム】

14:00-15:00【第1部 基調講演】

東日本大震災に学ぶ、危機管理のあり方 ～企業が取るべき対策とは？～
危機管理勉強会「齋藤塾」塾長
齋藤 實様（前東京都総合防災部情報統括課長）

15:00-15:30【第2部】

BCPガイドラインと必要構成技術の紹介
吉政創成株式会社 代表取締役 吉政 忠志様

15:30-16:00【第3部】

BCP対策に関連したIT人材育成メニューのご紹介
CTCテクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部

お問い合わせ CTCテクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部
TEL : 0120-667230

ト | ピ | ッ | ク |

◆◇ 『 Inst. Tech View～第7回 “プレゼンテーションTIPS” ～ 』 ◇◆

今回のInst. Tech Viewは、我々インストラクターの使用するプレゼンテーションテクニックについての話題です。

プレゼンテーションで最も有名なアプリケーションといえば、おなじみMicrosoft社のMicrosoft Office PowerPoint（以下PowerPoint）ですね。我々インストラクターもPowerPointで作成された資料を使用してトレーニングを実施するケースが多分にあります。

PowerPointでのプレゼンテーションの開始時には、完成したPPTファイルを実行し、「スライドショー」メニューから「実行」を選択（または「F5」キーを押下）するだけ。後はマウスの左クリック等でページを1枚ずつ進めていくことができます。

基本的な操作はこれだけなのですが、より効果を上げるためにいくつかの付加操作を行うことがあります。今回はその一部をご紹介します。

●その1：集中して話を聞いて頂きたいとき
トレーニングのメリハリをつけるため、プレゼンテーション中にあえてプロジェクターの画面を消して話すことで、受講者の皆様の視線をプレゼンターに集めるためのテクニックです。

画面のブラックアウト：スライドショー中に「B」キーを押下（再度押下すると元に戻る）

上記の簡単な操作で画面が真っ暗（スクリーンに何も映されない状態）になるので、次にプレゼンターは一步前に進んで話しを進めてください。自然と視線を集めることができます。

●その2：スライド中にアプリケーションデモをしたいとき
スライドショーをご覧頂く流れで、バックグラウンド起動中のアプリケーションを紹介する場合のテクニックです。スライドショーを「Esc」キー押下で終了し、別ウィンドウを選択するのはデスクトップ画面が映るため、お客様に好まれない場合もあります。また「Alt」＋「Tab」で直接タスクの切替も行えますが、切替に時間がかかったり、画面に大きく切替中の様子が映るのであまりスマートではない印象もあります。

タスクバーの表示：スライドショー中に「Ctrl」＋「T」を押下

画面下にタスクバーが現れて、アプリケーションの切替が目立たず簡単に行えるようになります。

●その3：スライド画面でペン・矢印の切替を行いたいとき
スライドショー中に強調したい部分に線を引いたり、通常の矢印カーソル状態に戻りたいときのテクニックです。スライドショー中にマウスの右クリックメニュー
ページ(2)

を開き「ポインタオプション」を選択するという方法もありますが、ここでもショートカットを活用しましょう。

矢印からペンへの切替：スライドショー中に「Ctrl」＋「P」を押下

ペンから矢印への切替：（ペン表示中に）「Esc」を押下

矢印を画面から消去：（矢印表示中に）「A」を押下

短時間でのプレゼンテーションの場合など、このようなショートカットが効果的な場合もあります。

今回は上記3点の紹介とさせていただきます。

なお上記の操作を忘れてしまったら、スライドショー実行中に「F1」キーを押下してください。ヘルプとしてキー操作一覧が表示され、上記操作以外も含め各種操作の確認ができます。

皆様に効果的に理解を進めて頂けるよう、我々インストラクターはインストラクションの内容や提供する資料の内容だけではなく、表現の仕方も意識しつつトレーニングの品質向上を図っております。

CTCテクノロジーのトレーニングを今後ともよろしくお願い致します。

コースの詳細情報はこちら：

<http://www.school.ctc-g.co.jp/index.html>

コ | ラ | ム |

◆◇ 『スーパーエンジニアの独り言 第4回 “スタートレック”』 ◇◆

今回の話題はスティーブ・ジョブズ “Steve Jobs” に纏わる話題です。スティーブ・ジョブズの訃報が流れたのはマスメディアでも大きく報道されご存知の方も多いと思いますが、56歳という若さで天に召されました。（2011年10月5日に死去されました。心から哀悼の意を表します。）

彼はまさに生きる神様の一人であって、凡人から観れば神話の中の登場人物で煌びやかなオリュンポスの神々の一人と喩えられるような存在です。黎明期に於ける神々の名前の一部の列記を試みれば、

- ◇ スティーブ・ジョブズ “Steven Paul Jobs” a.k.a. “Steve Jobs”
- ◆ スティーブ・ウォズニアック “Stephen Gary Wozniak”
- ◇ ビル・ゲイツ “William Henry Gates III” a.k.a. “Bill Gates”
- ◆ ポール・アレン “Paul Gardner Allen”
- ◇ ケン・トンプソン “Kenneth Lane Thompson” a.k.a. “Ken Thompson”
- ◆ デニス・リッチー “Dennis MacAlistair Ritchie”
- ◇ ブライアン・カーニハン “Brian Wilson Kernighan”
- ◆ ビル・ジョイ “William Nelson Joy” a.k.a. “Bill Joy”
- ◇ ビャーネ・ストロヴストルップ “Bjarne Stroustrup”
- ◆ アラン・ケイ “Alan Kay”

多数の神々無数の星々の中でも、ひと際光輝く一等星の星たちですが、巨星ジョブズに間髪いれずデニス・リッチーの悲報が届きました。（2011年10月8日に死去されました。享年70歳。謹んで哀悼の意を表します。）御二人とも長い闘病の末に亡くなった様子が、安らかに永眠されることをお祈りさせていただきます。星の世界に帰って地球を見守ってくださいませ。

神話の主人公である彼等の功績や逸話については、各所で回顧されています。哀悼の意を表し、ここでは極めて私的で勝手な思い出を書かせて頂きます。

ジョブズとウォズニアック、二人のスティーブによって登場した名機と云えば、Apple II です。当時、北国の田舎町に住む中学生（筆者）にとって何の縁も所縁もなく、その存在すら知る由もなく、計算機と言えば S.F. の中での話だった頃。

中学校の同級生の家にお邪魔した際に、未来箱 (Apple II) に出遭いました。その新しい友人のお父さんが、計算機関係の仕事だったらしいのです。

未来箱の画面で動いていたのは “E”， “K” などのアルファベットでしたが、

ctc201110

それこそがスタートレック("Star Trek"、邦題：宇宙大作戦)ゲームでした。操作を説明して貰い友人宅に滞在している間、夢中で無言で画面と睨めっこ。この所業のため、その後友人宅に招かれることはありませんでした。つまり、Apple II を触れたのはその時限りの出来事でしたが、エンタープライズ号を操作して角度を計算しクリンゴンに光子魚雷を発射する、まるでカーク船長になった気分と、この未来マシンを操作しているという快感という相乗効果でそれは紛れも無く未来体験であり筆者の原風景となりました。筆者、中学一年生だった1978年の事です。

その後、計算機に触る機会は全くありませんでしたが、就職時にコンピュータの会社を選択したのは、この原初の記憶が影響していたのでありましょう。入社して全く見聞きしたことないSun Microsystemsのマシンを触ることになりましたが、SPARCstation 1にインストールされていたSunOS 4で"/usr/games"の場所に、あの懐かしいスタートレックを見つけて狂喜乱舞したのを覚えています。これも何かの所縁なのかもしれません。「風が吹けば桶屋が儲かる」のか「バタフライ効果」なのか、どちらにせよ、極東の北国に住む少年にまで、ジョブスの影響があった事に相違ありません。

スティーブ・ジョブス死去のニュースと前後して、Appleから新製品お披露目があり iPhone 4S、iOS 5、iCloud と立て続けに世間に大きな変革を与えるリリースを行いました。あたかも彼の分身が登場している感覚を覚えます。これからもジョブスやリッチー達の影響は、将来的に続くことでしょう。

前述のゲームがiPhoneで"retroTrek"という名前で登録されています。このゲームは、当初ミニコンからApple IIへ"Apple Trek"が移植され、SunOS を含む多種のコンピュータ、そしてiPhoneでも動いているのです。一つの影響が他者に派生し、更なる影響が伝播していくのを実感します。何かしら連綿と続く輪廻転生のようにも感じる事が出来るでしょう。

最後に、ジョブスの影響を肌で感じる事が出来る一つとしてスタンフォードの卒業生に贈るスピーチが有名でとても感動的です。心に響く内容であり、死生観についても期せずして語られています。このスピーチの音声(肉声)が公開されています。未聴の方々に是非ともお薦めさせていただきます。

今回は、Doug Cutting講演(後半)をお届けするつもりです。お楽しみに。

関連コースの詳細情報はこちら：

「Oracle (旧 Sun)」関連コース
<http://www.school.ctc-g.co.jp/sun/>

「クラウド・仮想化」関連コース
<http://www.school.ctc-g.co.jp/cldvir/>

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部
E-Mail : kyouiku@ctc-g.co.jp / TEL : 03-5712-8701

-
- 外部委託について
弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社(CTC100%出資子会社)に委託しております。
 - 本メールマガジン編集・配信責任者
CTC エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一
所在地：東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jp
 - 個人情報保護方針
CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。
http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security
 - 配信中止及びお問合せ対応について
 - ・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が必要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。
<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>
 - ・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。

ctc201110

- ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc_edu_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。
-